

＜コラム⑪＞ 利水安全度と取水制限日数
～平成17年渇水における渇水被害の軽減～

ダムの貯水池容量のうち発電容量とは、電力が必要な時にダムに貯めていた水を発電のために自由に使うことができる水量のことです。

一方、那賀川における不特定容量とは、ダム下流の工業用水、農業用水などの利水や川に住む魚の生息などのために確保する最低限必要な水量のことです。

河川整備計画では、長安ロダムと川口ダムの容量配分を変更し、不特定容量を増強することにより、ダムの水を少しでも長く利用できるようにします。例えば、平成17年渇水では113日間取水制限を実施しましたが、長安ロダムと川口ダムの容量配分を変更することで取水制限日数を80日間に短縮することができます。

◆ 平成17年の取水制限日数

